

**【事務事業調査】**

事務事業名	町保健委員会活動費補助			予算科目	会計 - 款 - 項 - 目 - 事業
				コード	001-04-01-03-004-01-01
担当部課	住民生活部環境課	担当	リサイクル係	事業の分類	既存事業
		係長	竹澤 伸一		

**■事務事業の概要**

	何をどのような方法で実施します(実施しました)か?	どのような成果が現れます(現れました)か?
計画	H22 事後評価 保健委員が総会及び研修会をとおして環境活動の知識を高めるとともに、地区におけるごみの分別推進や指導など幅広い活動を実施していることで、住み良いまちづくりに貢献されています。	研修等を通して知識や教養を高め、クリーンキャンペーンの実施やごみの出し方指導など行政区の保健委員として、行政と町民の調整役としての役割を果たすことにつながります。
	H24 事前評価 地区衛生活動の推進を図り、町の各種保健衛生活動に積極的に協力し、快適で住み良いまちづくりのために活動している団体であるが、自主財源がないため活動費として町が補助する。	
実績		

**■活動指標**

指標	目標値	達成値	特記事項
総会・研修	2回		

**■事業費(計画)**

【単位:千円】

細節	金額	積算根拠
1 補助金	205	過年度の実績から妥当額として判断
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
	205	

**■事業費(実績)**

【単位:円】

細節	金額	特記事項
1		
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
	0	

**■事業経費**

		計画 【千円】	実績 【円】	特記事項
予算	当初予算額	205		
	補正予算額			
	流用額			
	予算現額			
決算	決算額			
財源	国庫支出金			
	県支出金			
	地方債			
	受益者負担金			
	その他の特定財源			
	計	0		
	差引(一般財源)	205		

■補助金等名:高根沢町保健委員会活動費補助

■補助事業者等:高根沢町

★自己評価基準

- (1)とてもよくあてはまる:5点
- (2)あてはまる:4点
- (3)どちらかというにあてはまる:3点
- (4)どちらかというにあてはまらない:1点
- (5)あてはまらない:0点

★総合評価基準

- (1)継続:総得点が35点以上
- (2)見直し:総得点が35点未満

補助金等交付基準		自己評価	評価に関するコメント
1	公益性	■受益が不特定多数の町民に広く及ぶものであり、特定の個人や団体のみが利益を受ける事業でない。	保健委員会が行っている地域衛生活動は、美化キャンペーンの実施、分別推進、ごみステーションの管理・美化看板の設置等多岐にわたっており極めて公益性が高いものといえる。
		■町全体に波及効果が期待できる。	
2	必要性	■地域経営計画に即し政策的に奨励する事業であり、町民のニーズに即している。	地域経営計画に基づく環境基本計画に即し、ごみの減量化やリサイクルの推進のための活動を展開している。
		■社会動向を展望し、先見性・発展性がある。	
3	公平性	■民間、NPO、ボランティア等、既存団体等の活動を阻害しない。	町保健委員会の活動は民間、NPO、ボランティア等、既存団体等の活動を阻害するものではなく、むしろそのような団体があえて取り組まないものである。また、活動内容は公益性が高いため、町民が等しく受益しているものと考えられる。
		■町民のサービス受益機会が均等である。	
4	効果性	■事業効果が明確かつ具体的である。	保健委員会の活動は、美化キャンペーンの実施、分別推進、ごみステーションの管理・美化看板の設置等多岐にわたっているが、それぞれの事業効果は、清潔で住みよい快適なまちづくりに明確に表れるものである。また、各事業の見積りも適正な額を計上している。
		■予算の見積りが適正である。	
5	適格性	■実施体制が明確である。	町保健委員会の組織は、規約に基づき会長等の各役員がおり、総会や役員会において事業及び予算を決定している。ただ、委員会の事務は環境課が担当しており、自主・自立の意識は低い。
		■自主・自立の傾向が明白で、将来計画がある。	
合計点数		38	
総合評価		継続	